

郡山市議会議員 2024年3月発行  
 ふるやま ゆい 会派リポート NO.3

# れいわ虹の会

発行責任者 / れいわ虹の会  
 〒963-8601 郡山市朝日 1-23-7 (郡山市議会内)  
 TEL : 024-924-2505

Instagram TikTok X (旧 Twitter)

あなたを  
ほっとかない!

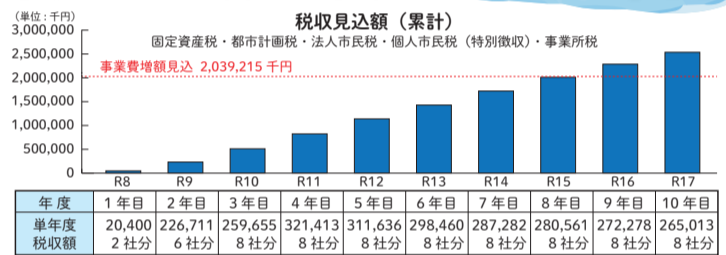
ふるやま ゆい  
 文教福祉常任委員  
 ☎ 080-1681-6618  
 ✉ xdmcj735@yahoo.co.jp

れいわ虹の会として、

- ・議案第30号 令和6年度郡山市一般会計予算
  - ・議案第74号 工事請負契約の変更について
  - ・請願第5号 重度心身障がい者医療費助成における現物給付の実施を求める請願
  - ・請願第6号 パレスチナ・ガザでの大虐殺を止めるために日本政府が役割を果たすこと等を求める請願
  - ・同7号 パレスチナ・ガザ地区における即時停戦及びそれぞれの人質の即時解放等による平和的解決を求める意見書提出についての請願書
  - ・請願第8号 現行の健康保険証の廃止期限延長を求める請願
- 議案第43号 令和6年度郡山市工業団地開発事業特別会計予算  
**議案3件に反対の立場で**  
**請願4件に賛成の立場で3月14日に討論を行いました。**

## 岩盤撤去で34億円増額 膨らむ西部工業団地造成工事費

議案30号、43号は、工業団地開発事業特別会計に一般会計から8億2,132万8千円を繰り出し、県補助金1億円、市債25億2,510万円を新たに追加するもの。第74号は、西部第一工業団地第2期工区造成工事の請負契約金額を48億5,590万500円から82億9,742万5,400円に変更。工事費が34億4,152万4,900円増額する内容。私は、こんな巨額の支出増を議論もしないまま通すべきではない、再検討すべきとして反対しましたが、討論も私一人、採決時の反対も一人でした。



### 請願 重度心身障がい者医療費助成における第5号 現物給付の実施を求める請願について

福島市、いわき市、矢吹町において現物給付が実施されています。本定例会の文教福祉委員会において「現物支給を実施した場合、毎年予算が1億6,000万円の増額が試算されていて財政を圧迫することに繋がる」という意見がありました。すでに実施している他の自治体にならない影響額分を一般会計から医療費助成に補填し、市民の皆様からお預かりした税金を重度心身障がい者、家族や関係者など、苦しんでいる状況を直ちに改善するべきと訴えました。(※現物給付：窓口負担なしで受診できる制度)

### 請願 パレスチナ・ガザでの大虐殺を止めるために日本政府が第6号 役割を果たすこと等を求める意見書提出の請願

### 請願 パレスチナ・ガザ地区における即時停戦及び第7号 それぞれの人質の即時解放等による平和的解決を求める意見書提出についての請願書

2月末までにパレスチナ自治体ガザ地区の死者は3万人、負傷者が7万人を超えたと報じられています。

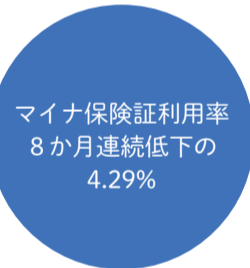
ガザの停戦を求める意見書あるいは決議は2023年12月23日現在、全国166の自治体で採択されています。

2024年1月30日現在、福島市、南相馬市、須賀川市で採択され、福島県議会でも採択されています。郡山市は1971年に世界連邦平和都市宣言、1984年に核兵器廃絶都市宣言、2016年に日本非核宣言自治体協議会へ加盟している自治体です。戦後78年経った今、再び惨禍を繰り返すことのないように郡山市は毎年長崎県長崎市へ平和学習のため中学生の派遣事業も実施している自治体です。世界唯一の戦争被爆国として国際法のもと国との平和的解決の連携強化の重要な役割を担うよう、意見書を郡山市議会からも出すべきだと訴えました。



### 請願 現行の健康保険証の廃止期限延長を第8号 求める請願

令和5年12月22日、政府は現行の健康保険証を令和6年12月2日で廃止し、マイナンバーカードを保険証として使う「マイナ保険証」に一本化することを閣議決定しました。マイナンバーカードの暗証番号さえ覚えていないという不安を持つ市民が多くいます。市制施行100年を迎える「誰一人取り残されない郡山」の実践として、国に対して現在の国民皆保険制度のもとで現行の健康保険証の廃止期限を延長するよう求めていくと同時に、本年12月に予定されている健康保険証の廃止後に受診抑制や無保険者が生まれないような対策を講じるべきだと訴えました。



※令和5年12月時点  
 ※令和6年1月19日 厚生労働省社会保障審議会医療保険部会資料参照

#### 【令和6年3月定例会 3月14日主な議決分】

議案 第30、43、74号	西部工業団地工事契約変更等(36対1)									
れいわ虹の会	志翔	新政	公明	緑風	自民	立憲郡山	共産	無所属	立憲	結果
×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願 第5号	重度心身障がい者医療費助成の現物給付実施を求める請願(7対30)									
○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	不採択
請願 第6号	パレスチナ・ガザでの大虐殺を止めるために日本政府が役割を果たすこと等を求める意見書提出請願(4対33)									
○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	不採択
請願 第7号	パレスチナ・ガザ地区における即時停戦、及びそれぞれの人質の即時解放等による平和的解決を求める意見書提出請願(11対26)									
○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	不採択
請願 第8号	現行の健康保険証の廃止期限延長を求める請願(7対30)									
○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	不採択

2月16日から3月14日まで、3月定例会が行なわれ、私は3月5日に一般質問いたしました。

3月5日  
一般質問

1. 郡山西部第一工業団地開発造成事業について
2. 子育て環境の整備について
3. 3歳児健診における採尿キットの改善について
4. 障がい者福祉の充実について
5. 中学校の校則の緩和について



## 郡山西部第一工業団地造成事業について

- Q** 造成前に行なった9か所のボーリング調査の位置や調査の場所は、いどのように検討したのか？
- A** 宅地造成等規制法を受けて国土交通省が定めた「宅地防災マニュアル」等を参考に2020年の第2期工区の実施設計時には大規模な法面2箇所を含めた計9箇所を実施した。
- Q** 第2期工区の造成に取り掛かる前に、綿密なボーリング調査がされていれば今回のような高額な補正予算を組む事態は避けられたのでは？
- A** 3つの手法によりボーリング調査を9箇所、地盤の強さを測定するサウンディング調査を11箇所行なった。一定の調査水準を確保したと考えている。
- Q** 工場建設の着手時期の遅れにより、今後進出予定企業の撤退は想定されるのか？
- A** 工場建設ができる時期として示した2025年4月よりも前倒し着工を希望された企業8社のうち2社となっている。申し込みを頂いた8社全てに造成工事の進捗について説明し、現時点において撤退の申し出はない。
- Q** 今後避けられない高齢社会の中で、今回の多大な予算の増額をどのように回収しようと考えているのか？この先継続費の追加予算が発生することはないのか？
- A** 申し込み企業8社から提出された投資計画をもとに試算し、人口減少や高齢化といった動向による影響はなく確実に見込まれるもの。継続費の予算については試算した岩盤量から現時点では追加予算の計上は考えていない。

## 設置型授乳室の導入と設置支援について

- Q** ベビーファーストを掲げる郡山市として、設置型授乳室を「ニコニコステーション事業」のシンボルとして、まずは公共施設に設置してはどうか？
- A** 「赤ちゃんニコニコステーション」は2013年2月から実施し、親子で長時間の滞在が見込まれる施設27箇所に設置済み。市民の要望等により本市の施設に授乳室の設置の必要が生じた場合には他の整備手法と併せて選択肢の一つとしていく。
- Q** 今年は市制施行100周年を機に、次の100年を生きる子どもたちの為に「郡山市ベビーファースト環境整備補助金」を幅広く周知し、制度を活用してより多くの場所に設置型授乳室を設置しては？
- A** 「ベビーファースト環境整備補助金」を創設し2月末までに5事業者に対し約96万円を補助した。この補助金は設置型授乳室の導入にも対象であるので、多くの事業者に補助金を活用してもらおうと同時に制度の周知もしていく。

## 採尿サポートキットの採用について

- Q** 子育ての負担の軽減のため、便座の上に貼り付け採尿サポートキットの採用して頂きたいと考えるが見解は？
- A** おむつをしている子どもでも簡単に採尿できる方法を具体的な方法を掲示し保護者の負担軽減を図っている。費用の面において現状より高額となるため現時点においてのサポートキットの採用は難しい。

## 採尿に関する柔軟な対応について

- Q** 健診を受ける子どもたちと保護者の心理的な負担を減らすために、「健診日以降の採尿でも大丈夫」「採尿できるタイミングでご提出ください」と幅広く周知しては？
- A** 保護者より採尿できない相談があった場合は、健診当日でなくてもよいことや4歳の誕生日前日まで検査が可能であることを伝え、保護者の心理的負担とならないよう対応している。今後はこのような対応をしていることを健診の案内通知やウェブサイト等で周知していく。

## 今後の主な予定

- 3月 30日(土) いわき市文化センター 原発事故から13年
- 4月 4日(木) 未来世代幸福法についてin三春町
- 27日(土) STOP温暖化全国キャンペーン(仮)



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキを使用しています。

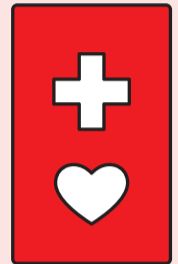
れいわ虹の会レポート No.3

## 障がい者窓口のワンストップ化について

- Q** 各課を回ることが困難な来庁者について、障がい福祉課の窓口「職員派遣型のワンストップ窓口」を設置し、来庁者が各課を回ることなく各課の職員が障がい福祉課の窓口まで足を運び対応するなど、合理的配慮により障がい者の負担軽減を図る取り組みを検討すべきと考えるが見解は？
- A** 現在、障がいの有無にかかわらず高齢・妊婦の方など歩行や移動に困難な状態である方に対し対応を行なっている。2024年1月から障がい福祉課と保健所保健・感染症課においてタブレットを活用したオンラインでの対応を可能とし、今後は障がい福祉課と保健所に加えて、こども部の関係が3者によるオンライン相談や受付について検討していく。

## ヘルプマークの積極的な交付について

- Q** ヘルプマークについて該当する方の申し出により交付しているが、交付要件に該当する方については申し出を待つことなく積極的交付をすべきと考えるが見解は？
- A** ヘルプマークは東京都が2012年に作成し著作権が東京都にある。郡山市では、2017年9月11日から申し出により交付しているが、周知・啓発に努めていく。(ヘルプマーク交付数累計3,268個、2024年1月末時点)(今定例会・ヘルプマーク製作費500枚分¥84,000計上済)



## ヘルプマークの周知・啓発について

- Q** きらめき出前講座への登録により、小中学生に対し「自分たちが暮らす社会においては援助や配慮が必要な方が共に暮らしていること」を認識してもらう周知・啓発が必要と感じるが見解は？
- A** 2017年度に障がいを正しく理解し、障がいのある方へのサポート方法を身に付けることを目的として、ヘルプマークの内容も含めた内容の「こおりやまこころのバリアフリーガイドブック」を1,500部作成し、市内小中学校へ1,132部配布するとともに、市のウェブサイトからもダウンロード可能とするなど、児童生徒の障がいに対する理解促進を図っている。今後は、きらめき出前講座の活用、教育委員会と連携していく。

## 各中学校における校則の違いについて

- Q** 中学校における校則は各校長が制定しているが、教科書を自宅に持ち帰らず教室に置いておくことについて認めていない中学校の数と理由は？
- A** 2018年9月8日付文部科学省通知「児童生徒の携行品に係る配慮について」をもとに、各学校において児童生徒の携行品の軽量化を図るよう指導している。家庭学習に必要なものを除き、教科書によって教科書等を教室に置いておくことを認めていない学校はない。

## 校則の改正による男女兼用スラックスの採用について

- Q** 男女兼用のスラックスを採用している学校数と、スラックスを選択した生徒の平均割合は？
- A** 令和5年度、市内中学校及び義務教育学校後期課程全27校中、約63%の学校で女子生徒の制服にスラックスの採用、選択可能としている。2024年2月末現在でスラックスを選択している女子生徒の割合は約1割となっている。

## 生徒の意見を取り入れた校則の見直しについて

- Q** 子どもたちの自主性を尊重する観点から、生徒会を通じて生徒の意見を取り入れるなど校則の見直しを進めていくべきでは？
- A** 「子どもの権利条約」第12条に「意見を表す権利」が示されており、各学校ではその権利を尊重し教育活動を行なっている。校則を見直す際には、児童生徒が主体的に参画することが、教育的意義を有するものであると認識している。

## 生徒指導提要が求める内容の実現について

- Q** 見直しが行われた校則のうち、生徒や保護者等学校関係者の意見を広範に聴取し、見直しが進められたケースとして全ての学校に周知すべきと考えるが見解は？
- A** 2023年1月に郡山市立学校全校を対象とした「校則等の見直しに係る取組の調査」において、校則の見直しに関わった人や服装、頭髪等の校則をどのように見直したのかについて調査し、その結果を全校に送付して、他校の取組を参考に校則を適宜見直すよう周知したところである。

お気軽にご参加ください。

## れいわ虹の会 3月議会報告会

6月議会に意見を集める集い

2024年4月20日(土) 13:30~ in総合福祉センター

- 第1部：3月議会報告
- 第2部：韓国オーガニック(有機・無農薬)学校給食について  
(フィールドワーク参加者：春木正美さん)